



報道関係各位 ※総務省記者クラブおよびセンター取材記者に配布

【解禁日】2月21日 午前0時

ふるさと暮らし（I J Uターン）を支援する相談窓口「ふるさと回帰支援センター」

移住希望地域ランキング2016

2016年 1位：山梨県、2位：長野県、3位：静岡県
2015年 1位：長野県、2位：山梨県、3位：島根県
2014年 1位：山梨県、2位：長野県、3位：岡山県

ふるさと暮らしを希望する都市住民と全国の地方自治体のマッチングを行う認定NPO法人ふるさと回帰支援センター（本社：東京都千代田区、理事長：見城美枝子）は、同センターが運営する「ふるさと暮らし情報センター」の来場者を対象に、2009年より移住希望先も含めた地方移住に関するアンケートを実施しています。

このたび2016年の調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

本調査結果につきましては、2017年2月21日～22日に東京交通会館で開催される、全国の自治体移住担当実務者研修会「2016年度都市と農山漁村の移住・交流実務者研修セミナー」におきまして発表、詳細説明をいたします。そのため当調査結果情報の解禁日を2月21日(火)とさせていただきますので、よろしくお願ひします。

※調査結果の詳細説明は上記セミナーの2/21日(火)14時35分からの活動報告の中で行います。
取材される場合はご一報ください。

<調査概要>

調査対象 : ふるさと暮らし情報センター（東京）利用者
 調査手法 : 東京交通会館来場者（新規来場者）へのアンケート
 （個別相談、相談会・セミナー参加者等）
 調査時期 : 2016年1月～12月
 回答数 : 6,777件（有効回答）

<主な調査結果>

1. 上位2県は入れ替わり、静岡県が3位に。新たに福岡県、神奈川県が初のランキング入り。

今回のランキングでは、新たに昨年7月から相談員を配置した福岡県が5位、一昨年12月から相談員を配置した神奈川県が16位に上がってきた。

センターでの移住相談会・セミナーの開催数でランキングが左右されると思われがちだが、セミナー開催が多くない広島県や高知県は外部セミナーを経ての相談件数を増やし、ランキングに食い込んでいる。

また、熊本地震の影響を懸念された熊本県・大分県も含め九州は6県がランキング20位以内に入っており、相変わらずの西日本人気が伺われる。

2. 移住相談会・セミナー開催数の増加と定着しつつある若年層のUターン志向。

移住相談件数は前年の21,584件から、26,426件へ22.4%の増加。今年は初めて来場者数が21,000件を超えた。この背景には相談会・セミナーの開催が前年の302回から418回へと大幅に増加したことや、幾つかの県による全市町村を集めた大型セミナー・近隣県との合同セミナーも開催され、漠然層の取り込みが図られたことも影響している。

また、昨年同様20代～40代の割合が68%を超え、Uターン希望者も32.5%と地方創生の動きがはじまった2014年以降増加傾向にあり、現役世代の地方移住の動きが定着し始めている。

今年は調査開始以来初めて移住先選択の条件として「就労の場があること」が「自然環境が良いこと」を上回り、地方都市を希望する人の割合が5割になったことから、これまでの「田舎暮らし」だけではない「地方暮らし」という新しい動きが出てきている。

なお、本調査結果は、2017年2月21日～22日に開催される、「2016年度 都市と農山漁村の移住・交流実務者研修セミナー」の資料集から抜粋。上記資料には、男女比、家族構成、希望するライフスタイル、優先順位、移住する時期、希望する物件等の動向も記載されており、資料集は1冊3,000円で販売しています。

九州の人气が上昇、増加傾向の移住相談会・セミナー開催数

ふるさと回帰支援センター（東京）移住希望地ランキング（2009-2016：暦年）

※(NPOふるさと回帰支援センター（東京）に相談来訪者・セミナー参加者、複数回答)

1月から12月までの1年間に新たに移住相談カード(移住希望者アンケート)を作成した人のみ。 N=回答件数

2009年		2010年		2011年		2012年		2013年		2014年		2015年		2016年	
順位	県名														
1位	福島県	1位	福島県	1位	長野県	1位	長野県	1位	長野県	1位	山梨県	1位	長野県	1位	山梨県
2位	長野県	2位	長野県	2位	福島県	2位	岡山県	2位	山梨県	2位	長野県	2位	山梨県	2位	長野県
3位	千葉県	3位	千葉県	3位	千葉県	3位	福島県	3位	岡山県	3位	岡山県	3位	島根県	3位	静岡県
4位	茨城県	4位	岩手県	4位	茨城県	4位	香川県	4位	福島県	4位	福島県	4位	静岡県	4位	広島県
5位	山梨県	5位	山形県	5位	岩手県	5位	千葉県	5位	熊本県	5位	新潟県	5位	岡山県	5位	福岡県
6位	北海道	6位	茨城県	6位	大分県	6位	島根県	6位	高知県	6位	熊本県	6位	広島県	6位	岡山県
7位	福井県	7位	宮城県	7位	富山県	7位	大分県	7位	富山県	7位	静岡県	7位	高知県	7位	大分県
8位	山形県	8位	山梨県	8位	熊本県	8位	鳥取県	8位	群馬県	8位	島根県	8位	秋田県	8位	新潟県
9位	静岡県	9位	静岡県	9位	秋田県	9位	宮崎県	9位	香川県	9位	富山県	9位	大分県	9位	長崎県
10位	秋田県	10位	宮崎県	9位	宮崎県	10位	和歌山県	10位	鹿児島県	10位	香川県	10位	宮崎県	10位	宮崎県
11位	和歌山県	11位	北海道	11位	新潟県	11位	山形県	11位	栃木県	11位	石川県	11位	富山県	11位	高知県
12位	栃木県	12位	秋田県	12位	栃木県	12位	高知県	12位	新潟県	12位	千葉県	12位	長崎県	12位	栃木県
13位	岐阜県	12位	岐阜県	12位	山梨県	12位	鹿児島県	13位	山口県	13位	群馬県	13位	香川県	13位	鹿児島県
14位	岩手県	12位	大分県	12位	鳥取県	14位	滋賀県	14位	島根県	14位	秋田県	14位	山口県	14位	愛媛県
15位	宮城県	15位	栃木県	15位	石川県	15位	山梨県	15位	大分県	15位	山口県	15位	新潟県	15位	富山県
16位	富山県	16位	福井県	15位	岡山県	16位	埼玉県	16位	茨城県	16位	長崎県	16位	福島県	16位	神奈川県
17位	新潟県	17位	鹿児島県	15位	鹿児島県	17位	愛媛県	17位	石川県	17位	茨城県	17位	熊本県	17位	群馬県
18位	宮崎県	18位	群馬県	18位	山形県	18位	熊本県	18位	福井県	18位	広島県	18位	岐阜県	18位	熊本県
19位	群馬県	18位	和歌山県	19位	群馬県	19位	栃木県	19位	千葉県	19位	高知県	19位	鹿児島県	19位	福島県
20位	埼玉県	20位	富山県	19位	岐阜県	19位	山口県	20位	北海道	20位	和歌山県	20位	和歌山県	20位	秋田県
				19位	静岡県							20位	三重県		

N= 788

N= 775

N= 406

N= 1,017

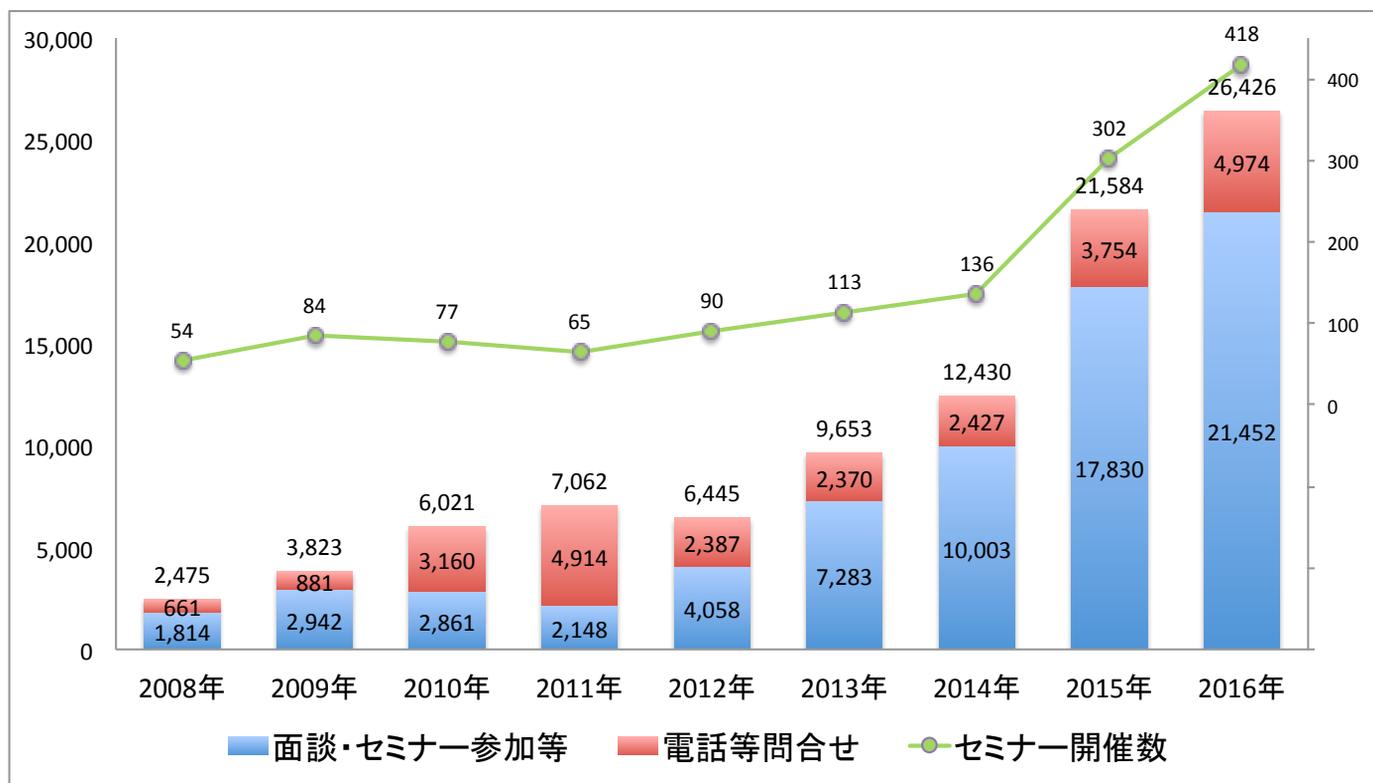
N= 1,642

N= 2,885

N= 4,325

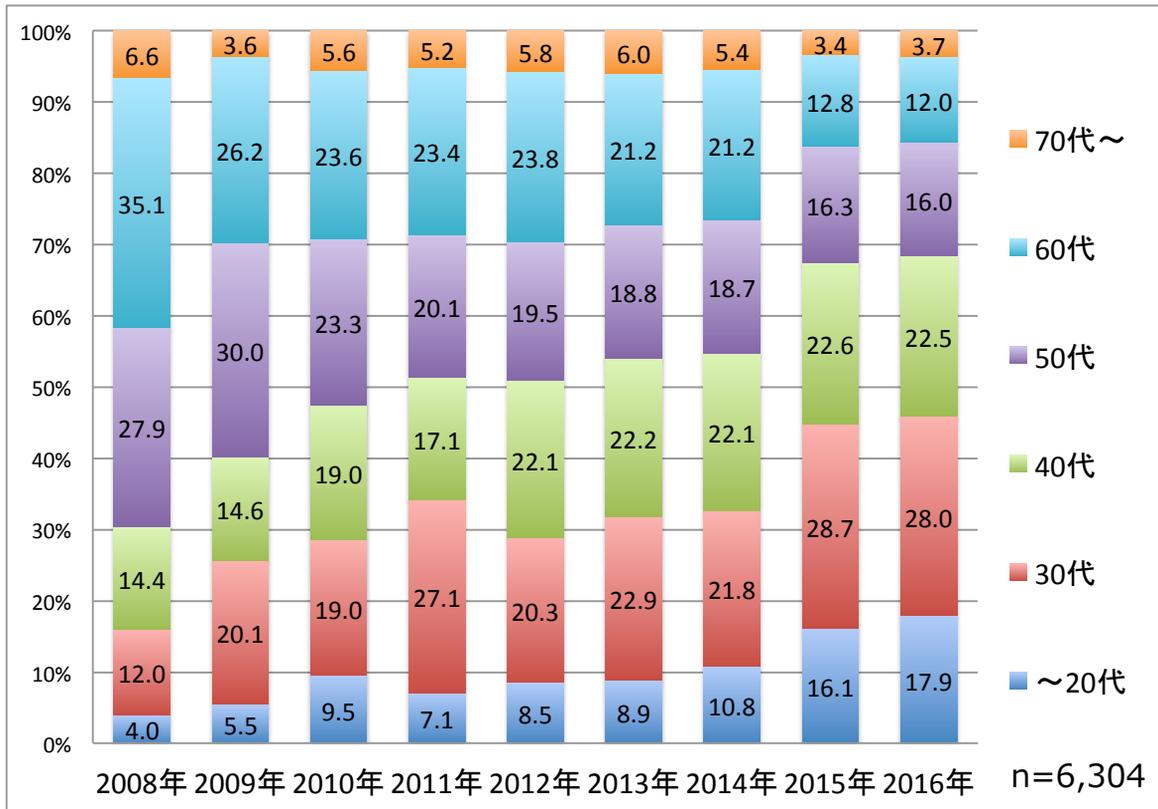
N= 6,777

【暦年】来訪者・問い合わせ数の推移（東京：2008～2016年）

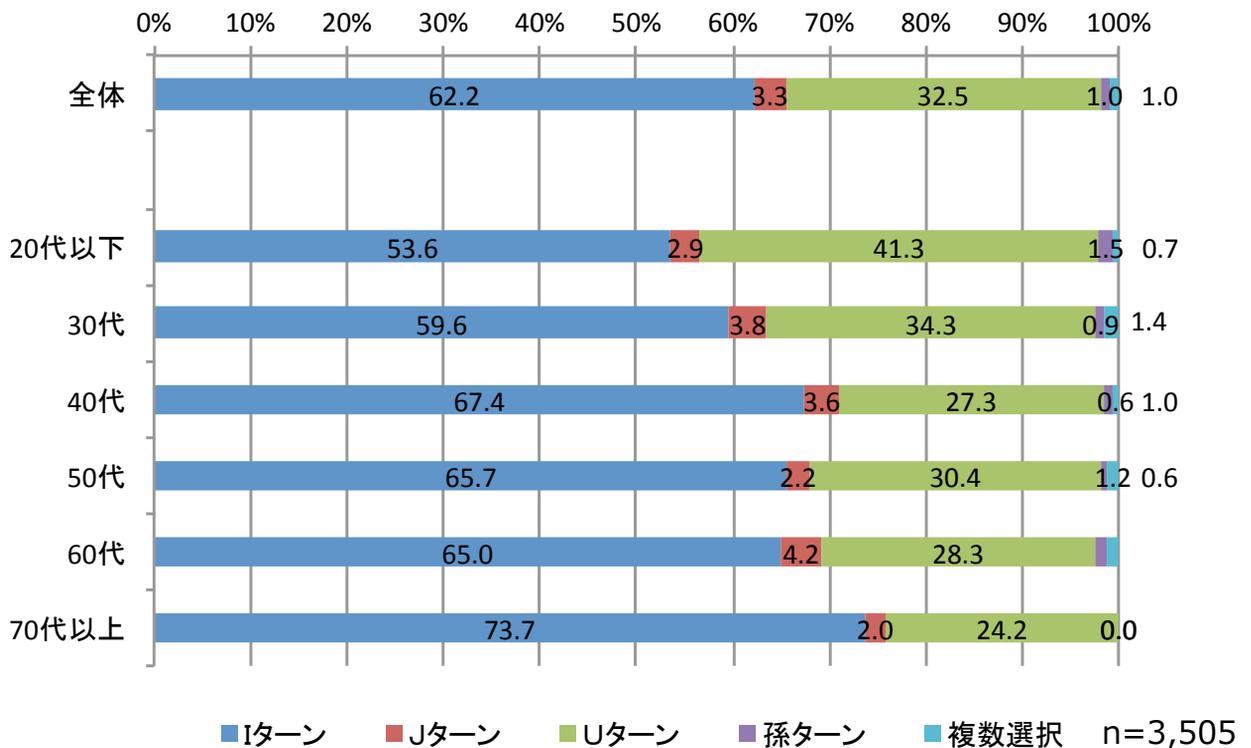


定着しつつある若者世代(20~30代)の移住。Uターン希望者も増加。

(暦年別) センター利用者の年代の推移(東京)2008-2016



相談者のUJIターン別分類と年齢別の比較



認定NPO法人
ふるさと回帰支援センター

■ 本件に関するお問い合わせ
特定非営利活動法人100万人のふるさと回帰・循環運動推進・支援センター
事務局 嵩(かさみ)和雄
TEL:03-6273-4415 FAX:03-6273-4404 MAIL:info@furusatokaiki.net